

SLiiiC サマー・ワーク・キャンプ 2015 報告書

専修大学 文学部 人文・ジャーナリズム学科
鈴木花

二日間にわたって行われた「SLiiiC サマー・ワーク・キャンプ 2015」に参加させていただいた感想をお伝えしたいと思います。

「図書館」という場に関心がある私にとって、現場に関わる多くの方たちとお会いできたことは貴重な機会でした。そのような環境で、どのような思いで活動されているのか、どの方のお話にも興味深く感じました。皆さんのお話の中で多く挙げられていたことは、一人職場であることの難しさ・司書という仕事の労働環境の厳しさ、その中でも学校図書館を良くしていきたいのだ、ということでした。

そのためでしょうか、ワールドカフェに参加している方々から、周りの人たちと課題や想いを共有したい！という強い気持ちが伝わってきました。SLiiiC の名前に込められた **Communication** (コミュニケーション)、**Collaboration** (共同制作)、**Combination** (連携) という思いが見えた場だったように思います。ワールドカフェが参加してくださった方たちをこれから先もつなぐお手伝いになっていければ幸いです。

「学校図書館と生涯教育」というテーマのもとで様々なことを体験したり、考えたりした中で、幼い頃から今に至るまで、図書館という場でどれだけの素晴らしい時間を過ごしたか思い出しました。居心地のよい席、新しい世界を見せてくれるたくさんの本、図書館にいつも居てくださる司書さん。そんな図書館を作る方々とお会いしたことで、私も誰かにとって幸せな場を作りたいのだ、と改めて確認することができました。多くの課題がありますが、日々できることを積み重ねていきたいと感じます。

今回お世話になった皆さんに心よりお礼を申し上げます。